



いせはら生涯学習 ボランティア協会ニュース

第 278 号 2024 年 4 月号

会長 三上 利榮

伊勢原市三ノ宮 362-6

第 11 回いせはら市民大学講座

～修了式～

令和 5 年 8 月 26 日にまだまだ暑さの残る中『第 19 期いせはら市民大学』の開講式を迎えました。第 1 期からの受講生や初めての受講生、年齢も経験値も違う方達が仲間になって、これからの 7 か月間どんな感じになっていくのかと思いましたが…気がつけば今日 3 月 9 日土曜日、朝から青く綺麗に晴れ渡った空の下、気持ちの良い修了式を迎えていました。

今回の修了式は 4 部形式で行いました。まず 1 部では修了証書と皆勤賞の授与式です。34 名の修了者の内 2 名の皆勤者がおり、凄いことだなと思いました。そしてこの市大は市民協働事業ということもあり、市の社会教育課の皆様には全ての回を通してお世話になりました。また修了式では杉山課長と端山専門員のお二方に暖かく優しいご祝辞を賜りました。

2 部では学ボラの前会長であり、東海大学名誉教授でいらっしゃる逢坂伸一先生より記念講和を頂きました。楽しいお話を挟みながらで

したが、やはり逢坂先生は教育者になるべくしてなられたのだと納得できました。

次は 3 部です。市大文化祭と銘打ち、小倉恵子さん指揮の下、甲冑バンドの清水さんご夫妻には伴奏をお願いしました。手拍子を打ったりステップを踏んだりしながら体を動かし楽しく合唱ができました。

そして 4 部、長かったコロナの影響も和らいだ今年、久しぶりに懇親会を行うことができました。お茶と持ち寄りのお菓子でしたが、歌った後のおしゃべり（話し合い？）は最後の班のグループワークとして和気あいあいの中で時間も過ぎていきました。

暑い日、寒い日、晴れの日、雨の日、7 か月間本当に色々ありました。そんな中で各班長さんにはご苦労もおかけしましたが、今年もまた心を通わせることのできた方々に感謝しつつ、またお会いしましょう。次は『第 20 期』です！

（市大副実行委員長）



修了式 集合写真



懇親会 お茶で乾杯

中央公民館まつり (いせはら市民大学第 4 回補講)

「市内の市民活動を学ぶ」

伊勢原市立公民館まつりが 2 月 10 日(土曜日)から 18 日(日曜日)まで市内 7 ヶ所の公民館で順次開催されました。私は 17 日(土曜日)第 33 回中央公民館まつりを見学しました。

公民館に近づくと和太鼓の音が迎えてくれます。正面玄関脇の階段で市内の幼稚園児さん達が和太鼓を叩きおまつり気分を盛り上げていました。

1 階ロビーに集合。最初に伊勢原市社会教育課専門員端山清氏から公民館まつりについて説明があり『展示品など例年に比べ少し寂しいかな? また模擬店なども現在まで事故はなかったが保健所の指導も厳しくなっています。』など説明を受けた後 3 階に移動。考古資料展『伊勢原の遺跡』を見学。ここでは伊勢原市教育部教育総務課文化財係長井出智之氏より『上粕屋・和田内遺跡』の説明を受け、平安時代末に創建された極楽寺(廃寺)の伝承があり、これまでの発掘調査でも寺院であったことが推測されている。古墳時代前期の竪穴式住居跡も発見。また『上粕屋・久保上遺跡』産業能率大学湘南キャンパス南側のエリアからは古墳時代後期に出現した横穴墓群が構築されていた等、興味深い説明をしていただきました。

この後自由行動となり私は 4 階に向かい知人が活動している『尺八の会』を見学。演奏を聴

いて自分でも演奏してみたいと思い塩ビパイプ製の尺八をいただき毎日音を出すトレーニングをしています。

2 階では知人のフラダンスを見学。私の全く個人的な意見ですが、無駄な力を入れずゆったりと動くところが太極拳をも思わせインナーマッスルの鍛錬・ハワイアンミュージックからはヒーリング効果も期待できそうです。

1 階展示ホールではいせはら観光ボランティアガイド&ウォーク協会や伊勢原手作り甲冑隊などの展示見学。私達の所属する展示は残念ながらイマイチでした。屋外では模擬店を見学しました。



於 中央公民館ロビー

公民館は地域住民やサークルなどの利用者が活動の練習や作品の作成を行い「新たな学び」を得る機会にあふれています。公民館まつりでは日頃の活動の発表・展示、また模擬店などで人と人とのつながりが広がり、さらに「新たな学び」も広がることを実感しました。(Hawk. A)

市民大学第 5 回補講

～市内の文化人講座～

2 月 24 日(土) 13 時半より中央公民館 3 階会議室 B において、標記の講座が行われました。講師としてお越しいただいたのは、『延喜式内相模國三之宮比々多神社』の『名誉宮司 永井治子様』です。

市民大学としては何度か見学をさせていただいています「郷土博物館」をはじめ、興味関心が尽きない地元の大切な神社です。今回は永井名誉宮司がお父様から受け継がれることになった当時のお心の内や、周囲から掛けられた心無い言葉などの一端もお聞かせいただきました。また初代神武天皇の御代より歴史を繋いでこられ、今現在色々なご努力を重ねながら次

代へと繋いでおられるお話に安らかな気持ちになりました。

皆さんご存知でしたか? 神様の前で拍手(かしわで)を打つのは神様を呼び出すため。だから急いで二拍手してはダメだそうです。一つ目を打ったらちょっと間をおいて二つ目を。そしてその時両掌をしっかりと合わせてはいけません。指の節(関節)と節を合わせては「不幸せ」につながる。上下に少しずらして打つのが大切だそうです。その他にも、注連縄は神域を表すこと。お供え餅が丸くて二重なこと。裏白の意味。鏡餅=神様のことでもあるということなど、平易で優しい言葉で教えていただきました。

(次頁に続く)

比々多神社では沢山の御祭神を祀っておられます。また、歳旦祭から始まり沢山の年中祭事があることも知りました。色々な面でもまだまだ奥深い神社に足を運びたいと思いました。

神社の境内に「比々多神社 三之宮冠大明神」という幟が立てられています。さてその意味は？・・・もう書ききれません！皆さんもご自分の足でお参りして確かめてください。（4班 講座生）



第 35 回伊勢原市民音楽祭♪

（いせはら市民大学第 6 回補講）

3 月 3 日（日）伊勢原市民文化会館にて開催されました。主催の伊勢原市音楽協会は伊勢原市の音楽文化の発展を目指し、同市を中心に活動する音楽家が集い、1988 年に発足した市民の方々にクラシック音楽をより身近に感じていただけるよう普及と啓発に努めているとの事でした。私は今回受付役員で初めて参加させて頂き、すべてが感動でした。



は小さいお子さんから年配者まで幅広い年齢層にはとても驚きました。

始まる 1 時間前から並んでいる方もいらっしゃいました。鑑賞に

来られた方

私も受付を終え、場内に入り鑑賞させて頂きました。聴いているうちに「自分もステキなドレスを着てヴァイオリンを弾いている自分を想像してしまい、音楽の世界に入ってしまった。

音楽会が終わり出演者がロビーに出てこられ、来場した方々に挨拶や一緒に写真を撮っている姿は満面の笑みで、こちらまで嬉しくなっていました。

私も今回のボランティアに参加させて頂き、この素晴らしい音楽会を友人に語っていこうと思います。（H. A）



早起きの起源

何が取り柄かと聞かれると朝早くに目が覚めることと答えられる。別に年を取ったから早起きするようになったのではなく、ある長期海外勤務の地で備わった習慣なのです。その勤務地では民間のアパート借り上げ、宿泊所としていました。アパートの隣は農家でニワトリを飼っていました。ある時を境にこのニワトリがライバルになり、これが早起きの起源となりました。

初めは“あ～～ニワトリ”が鳴いていると思う程度で目を覚ましたが、何時しかこのニワトリより早く起きてやろうと思ったのでした。思い込んだら実践しなければならぬ性分。毎日、午後



11 時前には就寝し、早朝（深夜？）の 3 時前に目を覚まし、ニワトリが鳴くのを待ちました。ニワトリは律儀に毎朝鳴きますが、鳴いた時にはもう目が覚めているのが常でした。その後、大音量のイスラム教の日の出前の礼拝の呼びかけがモスク（イスラム教の礼拝堂）のスピーカから流れてくるのを聞きながら、起床する毎日でした。以来、朝は目覚まし時計いらず。“早起きは三文の徳”と言いますから、気が付いていないだけで、何か良いことが有った/有るのでしょうか？（ら・ビダ）



「冬の朝布団の中で五七五」 人間の喜怒哀楽をユーモアで いせはら市民大学サークル・伊勢原川柳会（ひね朗会）紹介

いせはら市民大学の講座で川柳を学び、やがて仲間が集まり、サークルとなり 10 年目を迎えます。ワイワイガヤガヤとかって風に独自力・シニア風にリスペクトで「継続は力なり」と続いています。

7 年間ほどは、横浜から先生に来てもらい、仲間たちが「鉛筆なめ指折り数え五七五」などとやっていました。そのうち、慣れてきたので、仲間たちで「月のテーマ」を決めて「テーマ＝課題＝兼題」で頭を捻って楽しんでいます。

「ボケ防止人を食ってる文化人」とはオーバーですが、風流人と言えます。

「文は人なり」と良くいいますが、同じテーマでも表現は個性が出ます。ある人は「ボケを中心」にし、ある人は「花で歌い」、またある人は「政治表現」をする。さらに「自分を歌う」とか百人百様の言い回しになります。

このことが良さであり、関心事であり、人の生きざまの反映といえます。

例えば「風・かぜ」のテーマの時、Aさんは「梅の花メジロ押しだす春の風」と詠みますが、Bさんは「突風に帽子飛ばされ追いかける」と、Cさんは「風は今政治改革あるだけだ」と政治風刺句となり、さらにDさんは「口曲げて副総理風吹かしている」となります。面白いでしょう！これが川柳の醍醐味です。

こんな楽しい川柳会＝ひね朗会です。初心者歓迎！ やりだせばすぐ慣れます。

毎月 1 回、仲間が集まり、句を持ち寄り、「この句好き」「並べ方がねー」「今回は楽しかった」など、意見・感想を出しあいつつ、次のテーマと日時、場所決めて明日につなげて楽しんでいます。

「川柳で指を折り数え脳鍛え」 「良く笑い長生きしている歩いている」
申込は三上までどうぞ。 連絡先は 080-5513-1916 です。

4 月期は 4 月 6 日 10 時。伊勢原シティプラザの中のボラセンに集まります。
どなた様ものぞいてみてください。

長寿・健康時代を川柳で楽しみましょうよ。（三上記）

役 員 会 議 予 定 表

No	月 日		開催曜日		開始 時間	行 事 内 容	該当者	場 所
			番号	曜日				
1	4	11	第2	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館会議室B
					14時	事務局会議		
2	4	25	第4	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館会議室B
					14時	役員会	役員全員	
3	5	9	第2	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館会議室B
					14時	事務局会議		
4	5	23	第4	木曜日	13時	専門部会	該当役員	中央公民館4階 第2会議室
					14時	役員会	役員全員	

いせはら生涯学習ボランティア協会 第25回総会開催日程

月	日	曜	時 間	内 容	会 場
5	30	木	13時30分開始	新旧年度 活動報告・活動計画等	中央公民館会議室A

★新会員の皆様もご出席をお願い致します。

★新年度の会費納入をお願い致します。